

北海道林業事業体登録制度に関するアンケート調査結果について

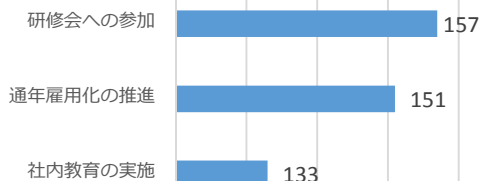
北海道林業事業体登録制度に登録している事業体を対象に、労務管理などの実態や経営改善などに関する意向を把握するため、アンケート調査を実施した。

平成29年2月調査。登録事業体778事業体を対象とし、うち311事業体から回答を得た。

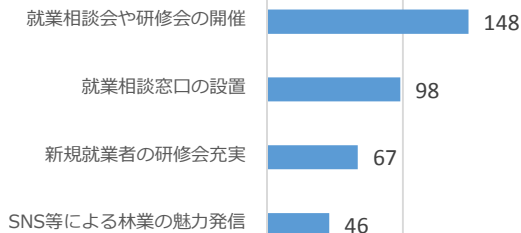
◆人材の育成・確保について

事業体の取組は、「研修会の積極的な参加」や「通年雇用化の推進」が多かった。また、道に期待する対策は、「人材の育成・確保に向けた就業相談会や研修会の開催」や「就業情報等の集約や発信を行う就業相談窓口の設置」が多かった。

事業体の取組（主な回答）



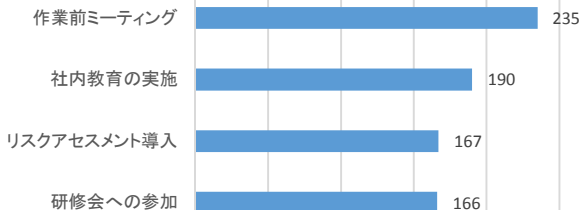
道に期待する対策（主な回答）



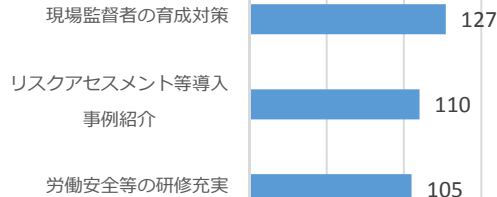
◆労働安全の確保について

事業体を実施している取組は、「現場作業前のミーティング」や「社内教育の実施」が多かった。また、道に期待する対策は、「現場監督者の育成に向けた対策」や「リスクアセスメント等の導入事例の紹介」が多かった。

事業体の取組（主な回答）



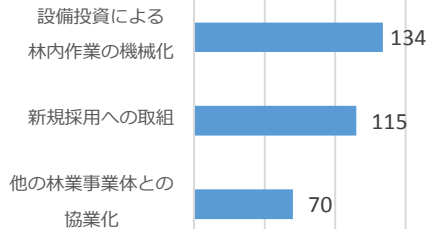
道に期待する対策（主な回答）



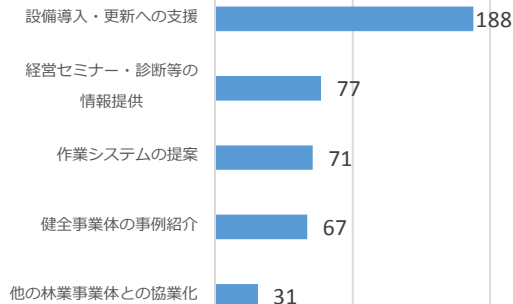
◆経営力の向上について

事業体を実施している取組は、「設備投資による林内作業の機械化」や「新規採用への取組」が多かった。また、道に期待する対策は、「林業機械等設備の導入や更新に向けた支援」が最も多く、次いで「経営力の向上に向けたセミナーや経営診断等の情報提供」などが多かった。

事業体の取組（主な回答）



道に期待する対策（主な回答）



◆制度について

登録による効果は、「特にない」が最も多かったが、「研修会等により労働安全や適切な森林施業への意識が高まった」、「「森林の玄人」により助成制度や研修会などの情報を得られた」との回答も多かった。

制度登録による効果（主な回答）

